

# Library Mate



## 向田邦子生誕80年記念特集

脚本家で作家の向田邦子さんが生まれてから80年。  
今も人々を魅了する向田作品と向田邦子さんの魅力をご紹介します！

### 向田作品の味

大学 生活文化学科  
非常勤講師 井口 佳子

二年前の八月のことである。母が入院していた杉並区内の病院で、向田和子さんをお見かけした。待合室の隅で本を読んでいらした。二度目にお見かけした時、思い切ってお声をかけさせていただいた。

「百歳の壁を越えるのは大変だわ」。あの時、母上は九十九歳でいらしたのだろう。私も実践の卒業生であることや、向田作品についてちょっとお喋りさせていただいた。

『父の詫び状』の中で、父上のご臨終の時、母上が白い布の代わりに豆絞りの手拭いをかけたことや、盲腸の手術をした後、兎の耳を掴んで持ち上げてしまったところ、兎に大暴れされ、縫った糸がプツンと切れて、こっそりマーキュロをつけたこと。あそこが面白かったことお伝えすると、「嘘よーあれ、姉は嘘が上手だったから」。ままやの開店の日、客が来ないと思ったら、看板が「準備中」になっていたこと、あれも嘘かなとふと思った。どちらでもよい。読者は面白く読ませていただければよいのだから。

この本のあとがきに、ご自身にとってはじめてのこの本の出版は、乳癌という大病をした「お釣り」

であるとあった。高過ぎた授業料からのお釣りが「チャリーン」。心憎い形容に思わず笑った。私も同じ病気をした後、はじめての本の出版というお釣りをいただいた。

どこかにありそうな日常に鋭く、しかし、淡々と切り込んでいく。好みの器に盛られた、きんぴらごぼう、ままやで人気のあったさつま芋のレモン煮、さっと炙った薩摩揚げの大根おろし添え、特別な料理でもないのに、なかなか出せない味。向田作品にはそんな味が漂っている。

私は幼児教育という仕事をしている。今、世の幼稚園には、行事という事件が盛んである。事件は分かり易く、目を向け易い。しかし、子どもたちの日常に目を向けることは難しいようだ。自分が見ようとしなければ見えにくい世界に、なかなか踏み込んでいかれない今の風潮が、人々を行事という分かり易い事件に走らせているのだろうか。

向田作品から学ぶものは大きい。



『父の詫び状』  
文藝春秋、1978、278p  
(大学図書館所蔵 914.6/Mu27, A-2)

## 向田邦子生誕80年記念 特別展示

— あなたに勇気をくれる向田邦子 向田作品を読もう! —

向田邦子生誕80年を記念して、11月23日から12月25日まで図書館で向田文庫資料の展示を行いました。その一部をご紹介します。

### 著作



#### 【生誕80年記念出版物】

『向田邦子シナリオ集』岩波書店，2009，全6冊（大学 080/195/B144～B149，A-87～92）  
向田邦子のドラマシナリオ集。編集過程で発見された幻のデビュー作「ダイヤル110番」収録。巻頭にはエッセイも。最終巻は全作品解説つき。  
『向田邦子全集』新版 文藝春秋，2009，全11巻 別巻2（短大 918.68/Mu27，A-93～98）  
小説、エッセイを収録。別巻に全対談集と「向田邦子の恋文」収録予定。

#### 【小説】

- 『思い出トランプ』新潮社，1980，230p（大学 913.6/Mu27，A-5）  
直木賞受賞作品。家族の中にひそむもやもやをシニカルに描く。
- 『男どき女どき』新潮社，1982，202p（大学 913.6/Mu27，A-17）  
毎朝通勤途中にある果物屋にいる「ピリケン」。彼の顔を毎朝見ないと一日の始まる気がしない。そのピリケンが死んだ。「ピリケン」ほか3編の短編小説と「わたしと職業」「独りを楽しむ」などのエッセイ収録。
- 『隣りの女』文芸春秋，1981，253p（大学 913.6/Mu27，A-8）  
幸せて何だろう。姉に想いを残す人との結婚。夫がいるのにほかの男性に惹かれてしまう人妻。人の心は一筋縄ではいかない。そんな味わい深い短編集。

#### 【エッセイ】

- 『夜中の薔薇』講談社，1981，263p（大学 914.6/Mu27，A-9）  
22歳の冬…上司に言われた一言で、自分のしたいことにとことん突き進んでいく決心をする（「手袋をさがす」）。など向田邦子の人生観が分かるエッセイのほか、日常や食べ物、身近な人々、旅の思い出、男性鑑賞法などさまざまな話題を、短いけれども軽妙なタッチで綴るエッセイ。
- 『無名仮人名簿』文芸春秋，1980，294p（大学 914.6/Mu27，A-4）
- 『霊長類ヒト科動物図鑑』文芸春秋，1981，318p（大学 914.6/Mu27，A-7）



### 向田邦子を知るには…

彼女がかかわった人々を通して向田邦子を知る。

- 『向田邦子暮しの愉しみ』向田邦子、向田和子著，新潮社，2003，143p（大学 910.268/Mu27，C-2003-6）  
料理好きだった向田邦子。おいしいものが大好きで、遊びに来た友人たちによく振舞っていたそう。レシピつき。同じ材料を使いまわして作れる献立や、作り置き常備菜など、一人暮らしの方、挑戦してみても。
- 『向田邦子の恋文』向田和子著，新潮社，2002，141p（大学 910.268/Mu27M，C-2002-10）  
向田邦子とN氏との恋愛。「邦子は一途だった。ほかにも心を動かすことはなかった。」恋愛を通して、向田邦子のまっすぐで激しい生き方が見えてくる。
- 『姉貴の尻尾』向田保雄著，文化出版局，1983，222p（大学 914.6/Mu27，C-165）
- 『向田邦子の全ドラマ：謎をめぐる12章』小林竜雄著，徳間書店，1996，312p（大学 910.268/Mu27K，C-801）
- 『向田邦子をめぐる17の物語』相庭泰志構成，KKベストセラーズ，2002，167p（大学 910.268/Mu27A，C-2002-2）  
17人の人から見た向田邦子。やさしさ、厳しさ…さまざまな人から見た、さまざまな向田邦子。
- 『向田邦子との二十年』久世光彦著，ちくま文庫，2009，382p（短大 B7/Ku99，C-2009-15）  
向田邦子と共にドラマを作ってきた演出家親友の久世光彦が見た向田邦子。
- 『久世光彦 向田邦子 特集昭和の東京』『東京人』都市出版，2009年9月号（No.272）（大学 361.5/To46，C-2009-24）  
二人を愛する人々が懐かしい昭和の写真とともに二人の思い出を振り返る。



※アルファベットが付いている資料は向田文庫資料の出納番号。文庫資料の閲覧は「特殊コレクション（閲覧・複製）許可願」が必要です。請求記号のあるものは一般の書架に並んでいますので、借りられます。ぜひ読んでみてください。

### 向田邦子プロフィール

昭和4年（1929年）11月28日、東京都世田谷区生まれ。実践女子専門学校卒業後、映画雑誌の編集者のかたわら、ラジオ、テレビの台本を書く。絶妙なセリフ、巧みな構成でホームドラマの基礎を築き、高視聴率作家の座を維持した。また、明治生まれの父親像を描いたエッセイ「父の詫び状」で作家デビュー。短編「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」（『思い出トランプ』所収）で第83回直木賞受賞。鋭い人間観察にもとづく描写が特徴で、小説家としても高い評価を得る。昭和56年8月22日逝去。享年51歳。昭和58年には優れた脚本に与えられる「向田邦子賞」が創設された。



## ホモ・ルーデンス（遊ぶ人間）を追って

短大 生活福祉学科

教授 園田 碩哉

私の専門は「余暇と遊び」である。こう言う  
と毎日遊び呆けているように思われがちなのだが、  
さにあらず。余暇にも学問があり、遊びにも理  
論がある。現在は日本余暇学会会長の職にあつて、  
研究会だの講演だのテレビ出演だの、けっこう  
余暇で忙しい（このジョークは気にいっている）。  
短大では「余暇生活論」や「遊戯文化論」とい  
う高邁な？講義をこなしている。

遊び論と言えば20世紀前半に活躍したオラ  
ンダの碩学ホイジンガの『ホモ・ルーデンス』  
を措いては語れない。「遊戯は文化の母胎である」  
とするこの浩瀚な遊び論に魅せられて遊び研究  
に邁進してきた。その成果がやっと纏まったの  
が40才の頃に出した『遊びの構造論』（1983年、  
不昧堂出版）である。名前から分かるとおり、  
当時流行していた構造主義を下敷きにして書いた。  
ホイジンガには及びもつかないが、自分なりの  
余暇と遊びの総合理論を生み出せたと自負した  
ものである。理解を示してくれる同学の士も少  
なくなかった。

それからすでに四半世紀。その後も相変わら  
ず余暇と遊び、レジャーとレクリエーションの  
周辺を巡りながら過ごしてきた。近年は福祉  
領域での余暇活用が重要な課題となり、福祉レ  
クリエーション援助をテーマとする実践活動や  
理論づくりが大きな仕事となっている。それ  
でも原点である遊び論も律儀に追いかけて続け、96年  
に『遊びの文化論』（遊戯社）、2004年には『遊  
びと仕事の人間学』（遊戯社）を上梓して遊び  
の3部作と自称している。研究の方はこれまでの  
実践を土台に社会運動としての「レクリエー  
ション運動史」を整理して、一昨年、日本体育  
大学から博士号をいただき、実践女子学園の援  
助でこの春『日本社会とレクリエーション運動』  
を上梓することが出来た。この本には博士論文  
と関連論文を合わせて収録したが、その中に私  
の研究生生活の原点となった『遊びの構造論』の



### 『遊びの文化論』

園田碩哉著  
遊戯社、1996.4. 207p  
(短大図書館所蔵 790/So45)

### 『遊びの構造論』

園田碩哉著  
不昧堂出版、1983.1. 249p  
(短大図書館所蔵 790/So45)

### 『遊びと仕事の人間学』

園田碩哉著  
遊戯社、2004.7. 227p  
(大学・短大図書館所蔵 365.7/So45)

主論文を再録させてもらった。その折り読み返  
してみたら、私のその後の仕事の本質は皆この  
25年前の論考に網羅されているという感を深く  
した。進歩がないと言えばそれまでだが、若い  
頃の著作にはそれなりの力があるということ  
もあろうか。

遊び論探究はこれで終わりというわけではない。  
日本の社会もこれまでの競争至上主義を脱して、  
生活のゆとり感を重視する方向に転じようと  
している。余暇や遊びというテーマにも再び人々  
の関心が集まるだろうと期待している。私自身  
の最後の仕上げとして取り組んでいるのが『遊  
びの精神史』である。日本の歴史を「遊びの相  
のもとに」見直してみようという、身の程知ら  
ずの壮大な試みである。ほんの試論が少しばかり  
書けたばかりで、果たして仕上がるものかど  
うか心許ないが、ホイジンガの仕事に少しでも  
近づくことが出来れば、もって瞑すべしと思う  
この頃である。

## 文学作品に見る下田歌子

短大 日本語コミュニケーション学科

教授 小林 修

今年の夏、第1回岩村夏季セミナーで標記のような講義をしたところ、図書館からも概略を書くように依頼されましたので、ここにその一部を紹介することにします。

まず明治時代から見ると、樋口一葉の日記に下田歌子に入門しようとした記述がみられますが、小説としては国木田独歩「巡査」(明治35年)があります。独歩は明治34年竹越三叉の紹介で神田駿河台の侯爵西園寺公望邸に寄寓したが、これはその時懇意になった西園寺家の護衛巡査高野某という人物のことを描いたものです。小説中「自分」は「山田銑太郎」という堂々たる偉丈夫で好人物の巡査と懇意になり、彼に誘われて、ある日彼の部屋を訪れる。山田は近郊に妻子があるが、養子でもあり東京で一人気楽な巡査生活を送っているのである。さて、酒好きな山田巡査は酒を酌み交わしながら「自分」と話をする中、興に乗って自作の漢詩を幾つか披露するはめになる。「どれもまづいなア」といいながら最初に吟じたのが「春夜偶成」と題する五言絶句。「朦朧烟月の下、一酔花に対して眠る、風冷やかに夢驚き覚れば、飛紅枕辺を埋む」というもの。私たちはこれを読むとオヤツと思うところだが、山田巡査はすぐに「これは下田歌子さんの歌に何とかいふのが有りましたねエ、(略)それを翻訳したのですがまるで比較になりませんア、あの婆さん、と言つちやア失礼だが全く歌はうまいもんですなア」と続ける。つまり、「手枕は花の吹雪に埋もれてうたたね寒し春の夜の月」という、あの「春月」の本歌取り漢詩バージョンだったのです。「春月」は宮中出仕中の明治5年下田歌子19才の時の作であり、「歌子」の名を賜った契機となった歌ですが、この小説が書かれた明治35年(歌子49才)の時点に至っても、この歌が世に行われていたことを示している。しかも市井の無骨な一介の巡査にまで膾炙していたことがわかります。因みに、この後二つの詩稿を披露していい気持ちになった山田巡査はうつらうつらと居眠りを始める。起こしても悪いと思った「自分」はそっと部屋を出る。しばらく歩いて振り返ると、山田巡査が窓から髭面ひげめの顔を出してしきりにお辞儀をしている。「自分は全然この巡査が気に入ってすつた。」というのがこの短編の結びです。大自然の中に刻印された人物ではないが、市井の一人物として、彼も独歩の「忘れえぬ人々」の

一人であったことは確かでしょう。

こうした形で下田歌子の名が登場する小説の他に、森鷗外の『青年』(明治43・44年)のように作中人物として登場するパターンもあります。これは作家志望の小泉純一という青年が一人故郷のY県から上京して大都会で自立生活を営もうとする物語です。或る日純一は先輩の大村に誘われ郊外散策のため上野駅に行きます。そこで女学生など五、六人の見送り人に囲まれた婦人に目を奪われる。その姿勢や態度が凜としているばかりか、一人一人に言葉をかける、その言葉が「洗練を極めた文章のやうな言語に一句の無駄がない。」純一は感心して大村に訊ねると、「あれは、君、有名な高島詠子さんだよ」と教えられる。この高島詠子が下田歌子であることは前後の関係からも明らかです。他にもいろいろ言及されているが、「兎に角英雄である。絶えず自己の感情を自己の意志の下に支配してゐる人物であらうと、純一は想像した。」と鷗外は書いています。小説全体から見ると、あまり必然性のある登場の仕方とは言えませんが、『平民新聞』の執拗な攻撃にさらされた後だけに、鷗外の下田歌子への温かい好意が窺われる一節だと思われます。さて、限られたスペースで最早触れる余裕はありませんが、現代文学では下田歌子を主人公もしくは主要登場人物とした小説が幾つも見られます。内容はここでは論じません。次項に写真で紹介するに止めておきます。



『運命』(『巡査』収録)

国木田独歩著  
左久良書房、1906.3、307p  
(復刻版 1972.6 日本近代文学館発行  
大学図書館所蔵 918.6/K142/2-4)

『青年』

森鷗外著  
初山書店、1913.2、317p  
(復刻版 1972.6 日本近代文学館発行  
大学図書館所蔵 918.6/K142/2-12)



現代文学の中の下田歌子

①



『合牢者』（『海老茶式部の母』収録）  
井上ひさし著  
文藝春秋，1977.11，266p

②



『花の嵐：明治の女帝・下田歌子の愛と野望』  
志茂田景樹著  
PHP 研究所，1984.5，238p  
（大学図書館所蔵 913.6/Sh51）

③



『ラスプーチンが来た』  
山田風太郎著  
文藝春秋，1984.12，289p  
（『山田風太郎明治小説全集』第6巻にも所収  
大学図書館所蔵 918.68/Y19/6）

④



『ミカドの淑女』  
林真理子著  
新潮社，1990.9，252p  
（大学・短大図書館所蔵 913.6/H48）

⑤



『妖傑 下田歌子』  
南條範夫著  
講談社，1994.10，268p  
（大学・短大図書館所蔵 913.6/N48）

【下田歌子先生演説時の様子】



『現代名士の演説振』より  
小野田翠雨著  
博文館，1908，312p  
（演説の時、髪に手をやるのが癖であったという）

学祖 下田歌子先生肖像（2）

①



下田先生 49歳位  
（明治35年頃）

②



下田先生 78歳  
（昭和6年）

③



校長室にて 下田先生 80歳  
（昭和8年）

※①～③は下田歌子記念資料室にあります。

肖像は前号でもご紹介しています。

## 「図書館見学会に行ってきました」

11月に図書館学課程研究室主催の図書館見学会が実施されました。見学先は「国立国会図書館 東京本館」と「財団法人 東京子ども図書館」の2つの図書館です。

国立国会図書館は、わが国における唯一の国立図書館であり、国会法第130条の規定にもとづき、国立国会図書館法により1948年に設立されました（国立国会図書館HPより）。東京子ども図書館は、東京にある四つの家庭文庫を母体として発足した、法人組織の私立図書館です。1974年に公益法人の認可を受けて以来、子どもたちへの直接サービスのほかに、“子どもと本の世界で働くおとな”のために、資料室の運営、出版、講演・講座の開催、人材育成のための奨学助成、研修生制度など、さまざまな活動を行っている図書館です（東京子ども図書館HPより）。

今回、見学に参加した学生さんにお話を聞いてみました。

### 図書館見学会に参加して

文学部 美学美術史学科

3年 村田 由希乃



今回の見学で、私は初めて国立国会図書館と東京子ども図書館を訪れました。最初に行った国立国会図書館では、思っていたよりもずっと明るく開放的で、平日だというのに利用者がたくさんいるということがとても印象に残りました。天井が高く、吹き抜けになっている個所もあり、また建物のデザインも、ステンドグラスのようなものが使われている部分やタペストリーが飾られているところがありました。“国立国会図書館”という名称から、なんとなくもっとカッコリと無機質なイメージを抱いていたので、とても意外に感じました。ですが入館にはカードの発行や荷物制限など、きちんとした手続きがあり、本当に様々な人が利用するのだなということを感じました。そして、資料のコピーという普段何気なくやっていることも、手続きをして図書館員がやるというシステムもあり、利用だけではなく資料の保存ということにもとても重きを置いているのだということを感じました。

二つの異なる図書館を見学したことで、図書館それぞれの目的や利用対象、規模などによって、外観や雰囲気などが全く違うのだということ、直に目で見て感じることができました。また、国立国会図書館も、東京子ども図書館も初めて訪れて、職員の方のお話を聞くことができ、とてもよい経験になりました（抜粋）。

文学部 国文学科

3年 大畑 友里

私は図書館サービスの中でも児童サービスに関心があるため、東京子ども図書館の見学は特に楽しみにしていました。まるで絵本に出てきそうな可愛い外観で、中に入ると意外と小規模な印象を受けました。しかし蔵書は厳密に選書されたものばかりで、なにより図書館員と利用者の子もたちとの距離がとても近く、小規模な図書館ならではの利点なのだと感じました。図書館員の方が子どもたちを名前呼びかけていたのが印象的でした。館内



見学だけではなく、実際におはなしもしていただきました。本のように目で読むだけではなく、耳から聞いておはなしを楽しむことが体験でき、20歳の私も純粋におはなしに聞き入っていました。

東京子ども図書館を見学して、子どもにとっての本の必要性を再確認しました。しかし現状として利用者は近所の子もたちで、家が遠くの子もたちは利用し辛いようです。多くの公共図書館にも児童コーナーの設置はありますが、やはり専門の子ども図書館が全国的に増えていけば素敵だなと思いました（抜粋）。



図書館見学会の参加者のみなさんに「自分自身が図書館を作るとしたら今後どのような図書館を作りたいか」とお尋ねしたところ、次のような意見を出してくれました。

「自分ならこんな図書館を」という気持ちのある方、ぜひスタッフに図書館の理想像をお聞かせください！

- ・ストーリーテリング用のブースがある図書館。“読む”だけでなく、“聞く”“語る”の力も養いたい。
- ・東京子ども図書館に感激し、もっと色々な場所にこのような図書館が作られると良いと思う。
- ・東京子ども図書館のような、利用者と密接にかかわる図書館がいい。
- ・年齢に関係なく、本が読めて、大人も子供も楽しめる図書館を作りたい。館内が明るく、何度でも来てもらえるような図書館にしたいと思う。
- ・ビデオ・DVD視聴図書館。
- ・東京子ども図書館のように親しみやすく誰でも利用できるようにしたい。自然がたくさんあり、絵本の世界に迷いこんだような図書館を作りたい。

## 指定図書の返却について（大学図書館）

館内で閲覧（利用）された指定図書の利用統計を取っています。

「館内」シールの貼ってあるもの、貸出手続きせず館内で利用した指定図書など、手に取って利用した指定図書は、全て書架ではなく黄色いワゴンに返してください。

黄色いワゴンは指定図書検索PCの隣に置いてあります。

ご協力をお願いします。

※貸出手続きした資料はカウンターで返却してください。



## 館員の横顔

10月から実践女子大学図書館に勤務することになりました林鶴代です。社会人10年目で、2歳の娘がいる働くお母ちゃんです。出産の際、2年ほど専業主婦をしていたのですが、その間の私の楽しみのひとつは、図書館で本を借りる事でした。購入するには勇気があるむずかしめのビジネス書や芸術書、独身時代にはあまり縁のなかった家庭生活に関する本を数多く読むことによって、育児に埋没しそうな日々の中にあっても、新たな“夢”や“目標”を見つけ、生き活きと毎日を過ごすことができました。

実践女子大学図書館では、一般の図書については冊数の制限なく貸出しが可能で、卒業した後も、様々なサービスを受けることができます。在学生の皆さん、そして卒業生の皆さんも、さまざまなライフステージにおいて図書館を利用していただければ幸いです。

皆さんの来館をお待ちしております。

# ❀❀❀いんふお-め-しょん❀❀❀

2009年12月～2010年3月

## 大学図書館

### 開館時間

通常：月～金 8：50～19：30  
土 8：50～17：00  
※日曜・祝日休館

### 冬休み特別貸出

期間：12/8(火)～12/25(金)  
返却日：1/8(金)  
対象：図書のみ 冊数無制限  
※指定図書・雑誌は通常通り

### 冬休み中の開館

開館日：12/24(木)～12/25(金)  
開館時間：12/24(木) 9：00～18：30  
12/25(金) 9：00～16：00

### 試験期の貸出

1/5(火)～1/23(土) 3日間貸出  
対象：大学生、短大生、科目等履修生

### 試験期の開館

1/5(火)～1/30(土)  
月～金 8：50～19：30  
土 8：50～17：00  
※日曜・祝日休館

### 試験終了後(2/1～)の開館

開館時間：9：00～16：00  
※日曜・祝日休館

### 春休み特別貸出

期間：1/25(月)～3/26(金)  
返却日：4/12(月) [卒業予定者3/19(金)]  
対象：図書のみ 冊数無制限  
※指定図書・雑誌は通常通り

### 休館日

12/26(土)～1/4(月)は冬期休業のため  
1/16(土)はセンター入試のため  
1/22(金)、2/2(火)～2/4(木)は入試のため  
2/25(木)～3/5(金)は蔵書点検のため  
3/6(土)は入試のため  
3/20(土)、3/27(土)～3/31(水)は卒業式、新年度準備のため

※3/20(土)の大学卒業式当日は閉館していますが見学は可能です。  
※4月の休館は学事日程に従います。

学事日程の関係で変更になる可能性があります。詳細や変更は掲示等でお知らせします。

## 編集後記

今号は実践卒業生の向田邦子さん生誕80年ということで、特集を組みました。向田さんが今でも人気があるのは、作品そのものももちろんですが、向田さん自身に魅力があるからだと思います。今回ご紹介したものの以外にも図書館ではたくさん向田邦子関係資料を所蔵しています。ぜひ利用してくださいね！

## 短期大学図書館

### 開館時間

通常：月～金 9：00～18：45  
土 9：00～16：00  
※日曜・祝日休館

### 冬休み特別貸出

期間：12/7(月)～12/24(木)  
返却日：1/7(木)  
対象：図書 冊数無制限  
AV資料 6点  
※指定図書・雑誌は通常通り

### 試験期の貸出

1/5(火)～1/20(水) 3日間貸出

### 試験期の開館

1/5(火)～1/25(月)  
月～金 9：00～18：45  
土 9：00～17：00  
※日曜・祝日休館

### 試験終了後(1/26～)の開館

1/26(火)～1/30(土)  
火～金 9：00～17：45  
土 9：00～16：00  
2/1(月)～9：00～16：00  
※日曜・祝日休館

### 春休み特別貸出

期間：1/21(木)～3/19(金)  
返却日：4/9(金) [卒業予定者3/19(金)]  
対象：図書 冊数無制限  
AV資料 6点  
※指定図書・雑誌は通常通り

### 休館日

12/25(金)～1/4(月)は冬期休業のため  
1/16(土)はセンター入試のため  
2/2(火)～2/4(木)は一般入試のため  
3/6(土)は一般入試のため  
3/20(土)～4/3(土)は新年度準備のため

Library Mate 第43号 2009年12月

発行所 実践女子大学図書館  
東京都日野市大坂上4-1-1  
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/>  
実践女子短期大学図書館  
東京都日野市神明1-13-1  
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>  
発行責任者 窪 龍子